



見附市立見附小学校 学校だより

No. 296

令和2年4月23日(木)発行

〒954-0052

見附市学校町1丁目3番89号

Te1 0258 (62) 0141



# みしよ

## 総会挨拶に替えて

校長 松井謙太

日頃より見附小学校の教育活動にご理解を賜りましてありがとうございます。特に、ウイルスの感染拡大防止に係る様々な対応にご協力いただき感謝いたします。愛育会総会・学習参観、評議委員会の中止をはじめとして、4月25日からの臨時休校等、急な予定変更が続き申し訳ありません。ご理解をよろしく願い申し上げます。

校長としまして、保護者の皆様方に直接ご挨拶や学校の説明をさせていただき愛育会総会が中止になったことは残念でありました。私は、皆様方の学校に寄せる信頼と安心が、全ての教育活動の基盤であると考えています。愛育会総会でお話ししようと考えていた四点について、以下に書きましたのでご覧ください。

### 1 こんな学校にしたい

子どもの世界は、自分を中心として、自分との関係は、家族、担任、学校、地域と同心円的に広がっていきます。

「友達がいる」「学校って面白いな」「また明日が楽しみだな」……そう思える子どもは、「学校が好き な子」です。学校が好きなら、いじめ・不登校の数も減るでしょう。

「先生が好き」という子どもは、だんだんと勉強が 好きになり、学力も高くなります。

そして、「自分自身のことが好き」という気持ちが 膨らめば、自信がつくし、自分をより誇らしく思える ようになります。そして、周りの人たちにも一層優しく接することができるようになります。

始業式で私は子どもたちに「見附小を好き好きパワ ーでいっぱいにしましょう」と話しました。「好き」 であることは、人が育つ上での肝なのです。

しかし、「好き」かどうかを決めるのは、子どもの 心です。果たして大人が、子どもをその気にさせられ るかが、もう一つの肝です。それには、学校と家庭の 連携が不可欠です。力を合わせて、明るく伸びる子ど もに育てていきましょう。

### 見小を好き好きパワーでいっぱい に好きであることは人が育つための肝



### 好きかどうかはその子の心が決めること 大人がその気にさせていけるかが肝 学校と家庭の連携が不可欠



## 2 新型コロナウイルス対策

■始業式以降、学校の一日の流れは次のようになっています。

……朝 7:30 頃、出勤してきた職員は職員室で慌ただしく準備をしていますが、7:45 にもなると、子どもを迎えるためにそれぞれの持ち場に向い、職員室はガランとなります。7:55 から 8:05 あたりが登校のピークです。登校した子どもたちが教室に入る前に、お家の方から記入いただいた健康チェックカードを、担任がチェックします。三密(密閉・密集・密接)を避けるため、特別教室や多目的ホールなどに設置された学年別のチェックポイントで行っています。検温忘れがあった子どもは保健室に立ち寄り、検温してから教室に向かいます。ランドセルを教室に置く前後に、石鹸で手洗いをします。教室は、二方向の窓を開けた常時換気と、間隔を空けた机の配置(所謂テスト並び)で一日過ごします。各学級でも改めて毎朝、健康観察をします。給食配膳時には混雑を避けるため、廊下や多目的ホールを使ってゆとりのある空間で配膳をしています。給食前や休み時間後の手洗いも続けます。減っていく手洗い石鹸を、保健委員会の子どもが補充します。放課後は毎日職員が分担して、校内のドアノブ、手すりなどを中心に消毒を行っています。



1年生



4年生

■給食初日の8日のことです。3年生の教室の給食の様子を見ようと、私が二階に上がりましたら、廊下の遠く向こうまでがしーんとしていて、いないのかなと思うほどの静かさです。3年1組を覗くと、テスト並びに広がったそれぞれの机で、静かに前を向いて給食を食べています。2月末に休校になってから実に久しぶりの給食です。わいわいと仲間たちと食べたいはずですが、その子たちが黙って前を向いて食べている。小さな自分ではあるけれど、できることをしっかりやっといこうとする姿。立派だなと思いました。担任の先生の指導ももちろんあったと思うのですが、子どもたちの健気さに涙が込み上げました。3年2組の教室に向かうことができず引き返しました。子どもは決して無力ではないと思いました。心が揺さぶられました。

■15日付見附新聞にも掲載されましたが、市ニット組合様から布マスクを提供していただきました。カットされた布を、丁寧に縫製されたマスクは、子どもたちに好評でした。感染拡大に立ち向かうチームに、ユニホームをいただいたような気持ちです。

現状は、報道にもありますように、感染拡大が止まりません。

見附市としては、原則として、次のような考え方をしています。

- ① 見附小の児童・職員が1名感染したら、見附小だけ2週間休業
- ② 市内複数校の児童・生徒・職員が感染したら、市内一斉2週間休業

私は「感染」「休業」に加えて、もう一つ心配事があります。感染した児童が出た場合、世間の誹謗中傷から守るということです。大人の見識が問われるところです。皆さんと一緒に子どもを守っていきたく思います。宜しく願いいたします。

### 3 学校の予定

見通しが立たないのが実際のところです。

学校の年間計画は、様々な指導内容や教育活動が、網の目のように張り巡らされたものです。年間計画は「秘伝のたれ」のようなもので、少しずつ足したり引いたりしながら、その学校で長い年月をかけて形作られてきたものです。

そして、年間計画をもとに、「四月は新しい気持ちで出会いを楽しみ、安全な学校生活の基盤を整え、安心できる生活リズムを整えていく月」「五月は自分の役割や出番を与えられ、全校の力を合わせて大きなものを作り出し、見附小の一員であることの自信と誇りをもつ月」……というような学びと生活の程よいリズムを子どもたちは刻んでいきます。

ですから、突然3月の学校生活がなくなったり、感染拡大防止のために様々な活動に制限がかかったりすると、新しく年間計画を作り替えながら、学校は進んでいかななくてはなりません。この仕事は、職員の負担をかなり増すこととなります。しかし、一方で、子どもに向き合う本当に必要な仕事を疎かにしてはいけません。子どもの安心、保護者の信頼が、全ての教育活動の基盤です。

運動会や卒業式などの行事は、当日を迎えるまでに、子どもたちは様々な準備や練習をします。そして、その過程の中で成長していきます。大人と違って、子どもの一日は長く、一年ともなれば、途方もなく長い時間です。しかし、その長い長い一年の中でも、全力を尽くして取り組む場面は、そう簡単に次から次へと出てくるものではありません。だからこそ、子どもが大きく成長する局面だと考え、職員の熱も入ります。

現在の状況では、運動会を延期したとしても、果たしていつできるのかも未定です。例年同様の内容をそのまま行うことも考えにくい状況です。他の活動も同様です。

そのため、その時にできる範囲での内容・方法となっていく予定です。そして、その中で子どもが育つ最適解を探っていくこととなります。保護者の皆様のご理解ご協力を何卒お願いいたします。

見附小学校としては、この春は、外遊びや持久走を中心に教育活動を組み立てていく予定です。3月の休校、春休み、そして再び臨時休校です。長い間、家の中で過ごし続けた子どもたちの体と心を起こしていきたいと思います。そして、2月の末で止まっていた学校生活を、学級・学年・委員会等それぞれのところで安定させていくことを、当面の主眼とします。

### 4 伝統教室整備

この活動は、2年前より愛育会から予算を頂いて行っているものです。令和5年に見附小は創立150周年の大きな節目を迎えます。前任の高橋校長が、「周年行事に向けて伝統教室を整備したい」と考え、地域学校協働本部のメンバーを中心に「伝統教室整備委員会」を立ち上げました。その資料整備等の活動のため、愛育会費からの出資を依頼したものです。現在は、過去の卒業アルバムのデジタル化を中心に活動し、当時の学校にかかわる物品の

収集や卒業生からの思い出の聞き取り等もしています。これらを活かして、展示物の作成を行う予定です。昨年度、高橋校長は「保護者・地域に当該事業に関心を持ってもらいたい」と考え、郷育フェスタで事業概要の説明動画を伝統教室で流しました。ご覧になった方もいらっしゃると思います。

今年度、引き継いだ私からは、愛育会の予算からの援助を、今年も引き続きお願いしたいと思います。そして、収集した資料の中で可能なものから展示していくことを検討します。



# 今年も地域の力で学校は支えられています

## 休校中もバラアーチボランティアの皆様が作業に来られました

残念ながら委員会の子どもたちとの協働作業は実現しませんでした。3月19日（木）にバラボラの皆さんの手をついに「つるバラ」が4本の柱に巻き付けられました。登校時も、バラの支柱の間を通るように動線を変えました。バラの芽が少しずつ大きくなるにつれて、今年はいくつバラの花が咲くのか期待が膨らみます。

また、3月31日（火）には、バラ付近の花壇に素敵な花を植えてくださいました。1ヶ月ほど学校から離れていた子どもたちが希望 **【3月19日 巻付け作業】**を抱きながら新年度を迎えられるように、色合いを考え、レイアウトを工夫して丁寧に植えていました。その心遣いに心から感謝いたします。



## 環境整備作業中止でも心強い支援がいただけます

4月29日（水）〔予備日5月9日（土）〕に予定していた愛育会環境整備作業は、2度目の臨時休校措置により中止となりました。困っていたところ、庄川平コミュニティの皆様が休校期間中に耕運機ですべての畑・花壇を耕してくださることになりました。かなりの面積がありますが、畑のスペシャリストの皆様のご厚意に感謝申し上げます。例年通り、花育活動がスタートできそうです。

**【3月31日 花植え作業】**

## 5月の予定・6月・7月の主な予定

### 【5月】

8日（木）田植え（5年生）  
⇒ 14（木）に**延期**  
23日（土）**運動会**  
⇒**延期**（時期未定）  
25日（月）通常授業に変更  
（給食あり）  
29日（金）5年プール清掃

### 【6月】

※今後の状況を見て判断していきます。

10日（水）祖父母フリー参観 ⇒**中止の予定**  
19日（金）**全校ふるさと遠足** ⇒**延期の予定**

### 【7月】

※今後の状況を見て判断していきます。

2日（木）・3日（金）6年修学旅行（佐渡）  
→延期の場合は、11月12・13日（方面はそのまま）  
7日（火）・8日（木）地区懇談会 ⇒**検討中**

### ネットトラブル防止のために

個人的な情報発信にかかわって、次の3点を改めて4年生以上に指導しました。保護者の管理下において、把握・確認をよろしくお願いいたします。

- ① 発信した画像情報等は、永久に消えない。（デジタルタトゥー）
- ② 個人情報発信は、事件や犯罪に巻き込まれる危険性も高い。
- ③ 間違った情報発信によって、加害者にも、被害者にもなる。

### 布マスク 見附市と国から支給

4月13日と20日の2回に分けて、ニット組合作成のマスクが見附市から寄贈されました。国からもマスクが1枚支給されました。自分の命・大切な人の命を守るマスクです。有効にお使いください。